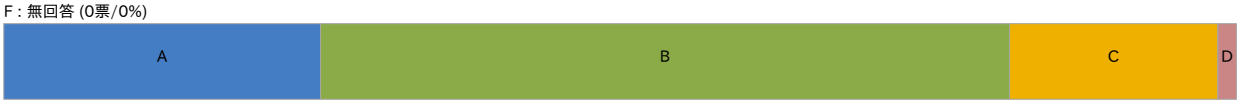
アンケート名	令和５年度人間・環境学研究科修士課程修了時アンケート
部局	人間・環境学研究科
対象者数	143
回答者数	136
回答率	95.1

結果

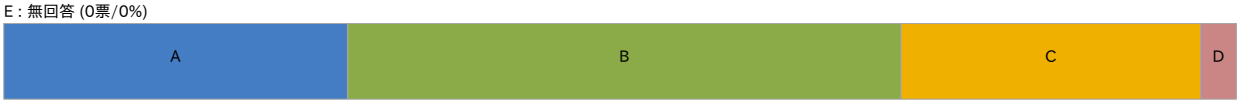
(Q.01)　研究科の教育理念をいつ知りましたか。
A：１．入学以前 (66票/48.5%)
B：２．入学後のガイダンス (49票/36%)
C：３．修士１年生の間 (5票/3.7%)
D：４．修士２年生の間 (1票/0.7%)
E：５．修了まで知らなかった (15票/11%)
F：無回答 (0票/0%)

(Q.02)　研究科の理念に沿った教育体制であったと思いますか。
A：１．おおいにそう思う (35票/25.7%)
B：２．そう思う (76票/55.9%)
C：３．どちらともいえない (23票/16.9%)
D：４．そうは思わない (2票/1.5%)
E：５．まったくそうは思わない (0票/0%)
F：無回答 (0票/0%)



(Q.03)　修士課程修了時までに学生が身に付けるべき知識や能力（ディプロマポリシー）が大学から明示されていると思いますか。
A：そう思う (51票/37.5%)
B：ある程度そう思う (64票/47.1%)
C：あまりそうは思わない (19票/14%)
D：そうは思わない (2票/1.5%)
E：無回答 (0票/0%)

(Q.04)　授業アンケート等を通じて学生の意見が反映され大学教育が良くなっていると思いますか。
A：そう思う (38票/27.9%)
B：ある程度そう思う (61票/44.9%)
C：あまりそうは思わない (33票/24.3%)
D：そうは思わない (4票/2.9%)
E：無回答 (0票/0%)



(Q.05)　教員が学生と向き合って教育研究に取り組んでいると思いますか。
A：そう思う (94票/69.1%)
B：ある程度そう思う (38票/27.9%)
C：あまりそうは思わない (3票/2.2%)
D：そうは思わない (1票/0.7%)
E：無回答 (0票/0%)

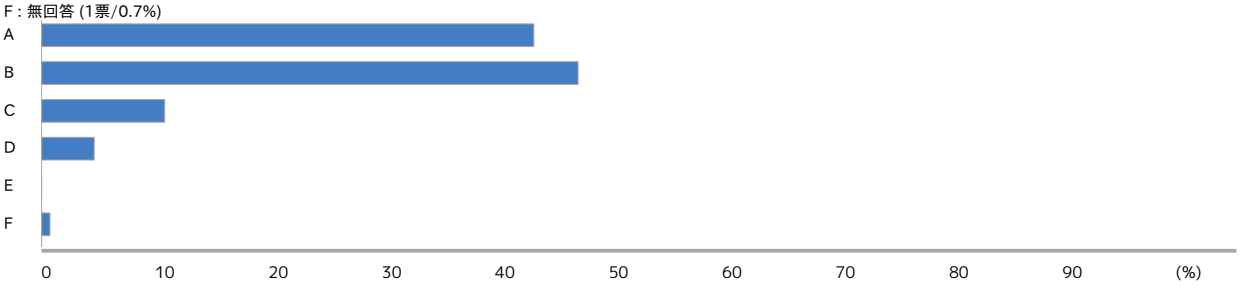
(Q.06)　週毎に何時間ぐらい大学で学業・研究に従事しましたか。
A：１．20時間未満 (26票/19.1%)
B：２．20-30時間 (27票/19.9%)
C：３．30-40時間 (38票/27.9%)
D：４．40-50時間 (24票/17.6%)
E：５．50-60時間 (13票/9.6%)
F：６．60時間以上 (7票/5.1%)
G：無回答 (1票/0.7%)

(Q.07)　週毎に自宅等学外では何時間ぐらい学業・研究に時間を使いましたか。
A：1．5時間未満 (31票/22.8%)
B：2．5-10時間 (36票/26.5%)
C：3．10-15時間 (28票/20.6%)
D：4．15-20時間 (17票/12.5%)
E：5．20時間以上 (23票/16.9%)
F：無回答 (1票/0.7%)

(Q.08)　講義・演習等の配分は適切だと思いますか。
A：1．適切 (68票/50%)
B：2．概ね適切 (53票/39%)
C：3．どちらともいえない (9票/6.6%)
D：4．やや不適切 (5票/3.7%)
E：5．不適切 (0票/0%)
F：無回答 (1票/0.7%)

(Q.09)　大学院の学業・研究に意欲的に取り組んだと思いますか。
A：1．取り組んだ (66票/48.5%)
B：2．概ね取り組んだ (51票/37.5%)
C：3．どちらともいえない (12票/8.8%)
D：4．十分意欲的に取り組んだとは言えない (6票/4.4%)
E：5．意欲的に取り組まなかった (0票/0%)
F：無回答 (1票/0.7%)

(Q.10)　修士課程で予定していた学業の成果があがりましたか。
A：1．おおいにあがった (56票/41.2%)
B：2．まあまああがった (61票/44.9%)
C：3．どちらともいえない (14票/10.3%)
D：4．あまりあがらなかった (6票/4.4%)
E：5．まったくあがらなかった (0票/0%)
F：無回答 (1票/0.7%)



(Q.11)　修士課程での学業・研究を通じて、それぞれの専門領域における広範かつ深い学識や広い視野に基づく研究能力を修得したと思いますか。
A：1．修得した (51票/37.5%)
B：2．概ね修得した (67票/49.3%)
C：3．どちらともいえない (14票/10.3%)
D：4．あまり修得しなかった (2票/1.5%)
E：5．修得しなかった (1票/0.7%)
F：無回答 (1票/0.7%)

(Q.12)　修士課程での学業・研究を通じて、Q.11の能力に基づく高度な分析・判断能力や論理的な論述能力を修得したと思いますか。
A：修得した (60票/44.1%)
B：概ね修得した (58票/42.6%)
C：どちらともいえない (14票/10.3%)
D：あまり修得しなかった (3票/2.2%)
E：修得しなかった (0票/0%)
F：無回答 (1票/0.7%)

(Q.13)　修士課程での学業・研究を通じて、高度な専門性を必要とする職業を担うための優れた能力を修得したと思いますか。
A：1．修得した (48票/35.3%)
B：2．概ね修得した (55票/40.4%)
C：3．どちらともいえない (25票/18.4%)
D：4．あまり修得しなかった (6票/4.4%)
E：5．修得しなかった (1票/0.7%)
F：無回答 (1票/0.7%)

(Q.14)　大学での学修によって成長を実感していますか。
A：そう思う (89票/65.4%)
B：ある程度そう思う (43票/31.6%)
C：あまりそうは思わない (3票/2.2%)
D：そうは思わない (0票/0%)
E：無回答 (1票/0.7%)

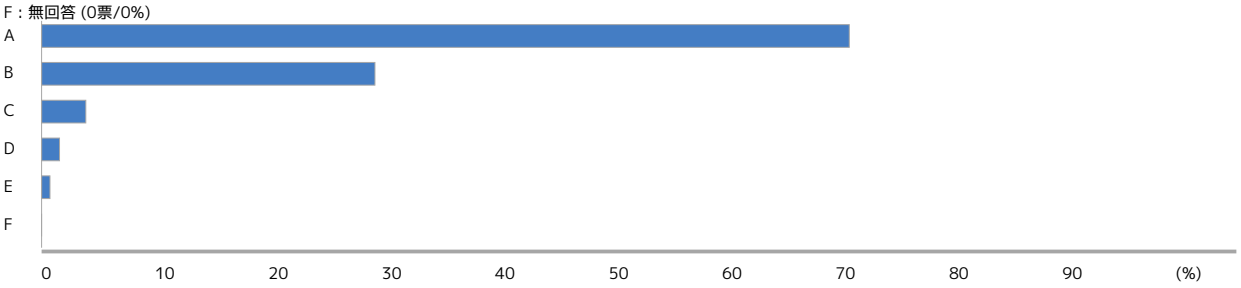
(Q.15)　修士課程はあなたにとって有意義でしたか。
A：1．有意義だった (93票/68.4%)
B：2．概ね有意義だった (37票/27.2%)
C：3．どちらともいえない (4票/2.9%)
D：4．あまり有意義ではなかった (1票/0.7%)
E：5．有意義ではなかった (0票/0%)
F：無回答 (1票/0.7%)

(Q.16)　修士課程での学業・研究・経験は進学先または就職先で役立つと思いますか。
A：1．役立つと思う (74票/54.4%)
B：2．どちらかというと役立つと思う (39票/28.7%)
C：3．わからない (18票/13.2%)
D：4．あまり役立たないと思う (5票/3.7%)
E：5．全く役立たないと思う (0票/0%)
F：無回答 (0票/0%)

(Q.17)　修士課程のカリキュラム・教育等は、実力を身につける上で、上手く組まれていましたか。
A：1．組まれていた (54票/39.7%)
B：2．概ね組まれていた (60票/44.1%)
C：3．どちらともいえない (18票/13.2%)
D：4．必ずしも組まれていなかった (4票/2.9%)
E：5．組まれていなかった (0票/0%)
F：無回答 (0票/0%)

(Q.18)　研究環境について、満足度を聞かせてください。
A：1．満足 (65票/47.8%)
B：2．概ね満足 (52票/38.2%)
C：3．どちらともいえない (17票/12.5%)
D：4．やや不満 (2票/1.5%)
E：5．不満 (0票/0%)
F：無回答 (0票/0%)

(Q.19)　指導教員の指導に満足しましたか。
A：1．満足 (92票/67.6%)
B：2．概ね満足 (38票/27.9%)
C：3．どちらともいえない (5票/3.7%)
D：4．やや不満 (2票/1.5%)
E：5．不満 (1票/0.7%)
F：無回答 (0票/0%)



(Q.20)　人間・環境学研究科で良かったと思うことや、悪かったと思うこと等、自由に記入してください。